



遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎ 025-280-5475

ホームページ



長岡市医師会の医療・介護政策

「国民医療・介護の更なる充実・強化を図る」

2月14日、遠藤れい子県議は長岡市医師会を訪ねました。「医療政策」には、日頃の診療での切実な思いがぎゅっしりつまっていて、先生方の真摯な努力に頭がさがります。

すすむ高齢化、少子化。今こそ歯止めをかけないといけません。誰もが安心して医療・介護が受けられるよ

長岡市医師会の

医療政策

一、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、立川総合病院の長岡市内三病院による途切れの無い二次病院救急輪番体制を維持し、患者が適切な医療を滞ることなく受けられる体制を堅持する。
一、国民皆保険を堅持するとともに、国民間で医療・介護の享受に格差が生じないよう、国民医療・介護の更なる充実・強化を図る。
一、健康寿命を延伸し、社

う、県議会ですっかり主張していかなければと決意を新たにしました。
患者が適切な医療を滞ることなく受けられる体制を堅持する

長岡市医師会は、いち早く新型コロナPCR検査センター開設に尽力され、県内唯一の入院待機ステーションも医療連携の力を発

会保障の充実により国民不安を解消するため、必要な財源を確保する。

一、国民が住み慣れた地域において質の高い医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医機能を中心とした地域における必要な医療を確保する。

一、地域における医師偏在をなくし、医師の過重労働を解消する政策を推進する。

一、新興感染症の感染拡大等で医療崩壊を招かないよう、医療機関に十分な支援を行う。

揮されました。

住み慣れた地域で質の高い医療・介護を受けられるかかりつけ医機能で必要な医療を確保する
感染医療と一般医療につ

新型コロナ対応で市民のいのちを最前線で守ってこられた先生方の熱き思いに、私の胸も熱くなりました。

医療・介護の充実にご尽力されている医師会、医療機関、医療従事者の願いに応え、共にいのちを守っていきたいの思いを強くしました。



(日赤時代の遠藤れい子)

力を合わせて、医療・介護の充実・強化を図りましょう。

いても、日々患者が適切な医療が受けられるようご努力されていることが分かります。

立川総合病院の医師体制に困難発生 医師確保に県の支援も必要と思います！

2月16日地元紙に「消化器内科が大幅縮小・新患受付ができなくなる」の記事にビックリしました。新大医学部も医師が少なく派遣の停止を決めたとか、たいへん困った事態です。

県議会で一貫して「医師養成と確保」を求めてきた遠藤県議は、「現場任せでなく、県が率先して医師確保に知恵も力もお金もかけることが必要です。」と県の支援も求めました。